

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	南アフリカ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	南アフリカ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# Navio 南アフリカ債券ファンド



第78期（決算日：2018年10月18日）  
 第79期（決算日：2018年11月19日）  
 第80期（決算日：2018年12月18日）  
 第81期（決算日：2019年1月18日）  
 第82期（決算日：2019年2月18日）  
 第83期（決算日：2019年3月18日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「Navio 南アフリカ債券ファンド」は、去る3月18日に第83期の決算を行いましたので、法令に基づいて第78期～第83期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) J P モルガン G B I - E M 南アフリカ		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	期中騰落率	(円ベース)	期中騰落率			
54期(2016年10月18日)	円 6,986	45	△ 0.2	349.65	0.0	97.6	—	百万円 243
55期(2016年11月18日)	7,133	45	2.7	362.03	3.5	95.9	—	245
56期(2016年12月19日)	7,823	45	10.3	399.70	10.4	94.2	—	270
57期(2017年1月18日)	8,020	45	3.1	411.41	2.9	94.6	—	281
58期(2017年2月20日)	8,241	45	3.3	425.53	3.4	94.8	—	291
59期(2017年3月21日)	8,647	45	5.5	452.48	6.3	95.5	—	319
60期(2017年4月18日)	7,744	45	△ 9.9	403.48	△ 10.8	95.1	—	283
61期(2017年5月18日)	7,922	45	2.9	422.58	4.7	96.8	—	291
62期(2017年6月19日)	8,267	45	4.9	436.93	3.4	95.7	—	303
63期(2017年7月18日)	8,217	45	△ 0.1	442.70	1.3	95.5	—	302
64期(2017年8月18日)	7,835	45	△ 4.1	429.14	△ 3.1	94.9	—	290
65期(2017年9月19日)	8,037	45	3.2	437.34	1.9	95.8	—	301
66期(2017年10月18日)	7,859	45	△ 1.7	429.43	△ 1.8	97.1	—	293
67期(2017年11月20日)	7,206	45	△ 7.7	398.91	△ 7.1	95.6	—	271
68期(2017年12月18日)	7,927	45	10.6	439.74	10.2	96.2	—	298
69期(2018年1月18日)	8,659	45	9.8	486.04	10.5	95.7	—	323
70期(2018年2月19日)	9,004	45	4.5	511.35	5.2	94.3	—	349
71期(2018年3月19日)	8,675	45	△ 3.2	498.05	△ 2.6	93.4	—	350
72期(2018年4月18日)	8,915	45	3.3	512.21	2.8	96.7	—	361
73期(2018年5月18日)	8,471	45	△ 4.5	492.02	△ 3.9	95.8	—	336
74期(2018年6月18日)	7,672	45	△ 8.9	444.27	△ 9.7	94.8	—	304
75期(2018年7月18日)	8,099	45	6.2	477.65	7.5	95.0	—	327
76期(2018年8月20日)	6,992	45	△ 13.1	411.33	△ 13.9	94.3	—	276
77期(2018年9月18日)	6,811	45	△ 1.9	409.33	△ 0.5	96.5	—	270
78期(2018年10月18日)	7,258	45	7.2	437.34	6.8	96.8	—	288
79期(2018年11月19日)	7,422	45	2.9	449.20	2.7	95.6	—	298
80期(2018年12月18日)	7,119	45	△ 3.5	435.23	△ 3.1	94.9	—	285
81期(2019年1月18日)	7,464	45	5.5	455.61	4.7	95.0	—	300
82期(2019年2月18日)	7,299	45	△ 1.6	451.14	△ 1.0	95.2	—	285
83期(2019年3月18日)	7,256	45	0.0	455.19	0.9	97.0	—	284

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M 南アフリカ (円ベース) は、J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) のサブインデックスです。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南アフリカ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰落率	(円ベース)	騰落率		
第78期	(期首) 2018年9月18日	6,811	—	409.33	—	96.5	—
	9月末	7,481	9.8	448.32	9.5	96.1	—
	(期末) 2018年10月18日	7,303	7.2	437.34	6.8	96.8	—
第79期	(期首) 2018年10月18日	7,258	—	437.34	—	96.8	—
	10月末	7,063	△2.7	424.07	△3.0	95.9	—
	(期末) 2018年11月19日	7,467	2.9	449.20	2.7	95.6	—
第80期	(期首) 2018年11月19日	7,422	—	449.20	—	95.6	—
	11月末	7,782	4.9	472.27	5.1	95.4	—
	(期末) 2018年12月18日	7,164	△3.5	435.23	△3.1	94.9	—
第81期	(期首) 2018年12月18日	7,119	—	435.23	—	94.9	—
	12月末	7,112	△0.1	433.73	△0.3	93.0	—
	(期末) 2019年1月18日	7,509	5.5	455.61	4.7	95.0	—
第82期	(期首) 2019年1月18日	7,464	—	455.61	—	95.0	—
	1月末	7,683	2.9	469.44	3.0	95.4	—
	(期末) 2019年2月18日	7,344	△1.6	451.14	△1.0	95.2	—
第83期	(期首) 2019年2月18日	7,299	—	451.14	—	95.2	—
	2月末	7,527	3.1	466.51	3.4	94.7	—
	(期末) 2019年3月18日	7,301	0.0	455.19	0.9	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

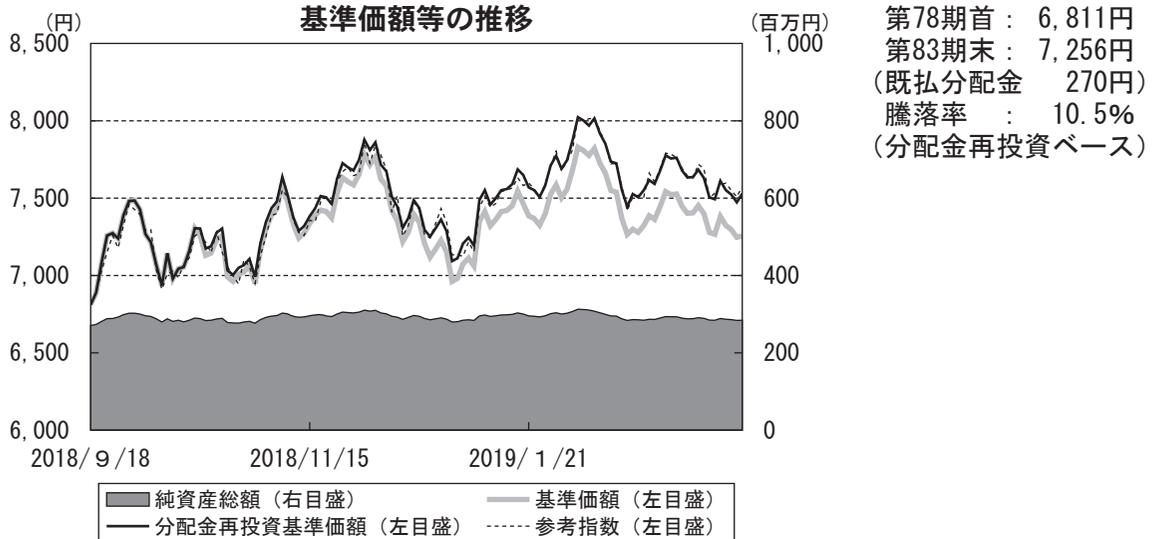
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第78期～第83期：2018/9/19～2019/3/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ10.5% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

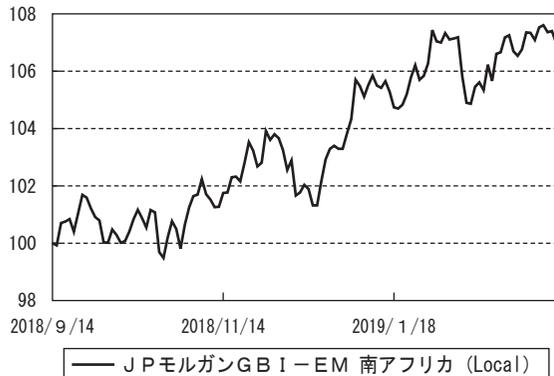
## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことに加え、南アフリカランドが対円で上昇したことや債券価格が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

(第78期～第83期：2018/9/19～2019/3/18)

債券市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

## ◎債券市況

・南アフリカの債券市場では、金利は低下しました。国营電力会社エスコムの債務問題および政府の財政健全性に焦点があつた局面では金利が一時的に上昇したものの、米国の利上げ観測が後退し、新興国全体に対する投資家のリスクセンチメントが改善したことなどを受けて、同国金利はもみ合いながらも低下基調で推移しました。2019年2月には、発表された2019年度予算案が財政赤字拡大を示す内容であったものの、大手格付会社一社が同国の自国通貨建ての長期債務格付けを維持することを示唆したことなども、金利低下要因となりました。

## ◎為替市況

・南アフリカランドは対円で上昇しました。

・当作成期首から2019年1月末にかけては、市場の変動性が高まった2018年12月半ばから2019年年始にかけて南アフリカランドが対円で一時下落する局面もあったものの、前記のように新興国全体に対するリスクセンチメントが改善したことなどを背景に、南アフリカランドは対円で上昇基調で推移しました。その後は、同国の財政への懸念が高まったことなどから、南アフリカランドは対円で下落しましたが、当作成期を通じてみると、南アフリカランドは対円で上昇して終わりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <N a v i o 南アフリカ債券ファンド>

- ・南アフリカ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資をしました。

### <南アフリカ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ11.3%の上昇となりました。

- ・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、米国の政策金利引上げへの期待が後退するなど、外部要因の改善があった一方、同国の財政への懸念は依然として残っていると判断し、当作成期を通じて参考指数比中立としました。
- ・債券の利子収益を享受したことに加え、南アフリカランドが対円で上昇したことや債券価格が上昇したことなどがプラス要因となり基準価額は上昇しました。

（ご参考）

### 利回り・デュレーション

作成期首（2018年9月18日）

最終利回り	9.5%
直接利回り	9.0%
デュレーション	7.6年

作成期末（2019年3月18日）

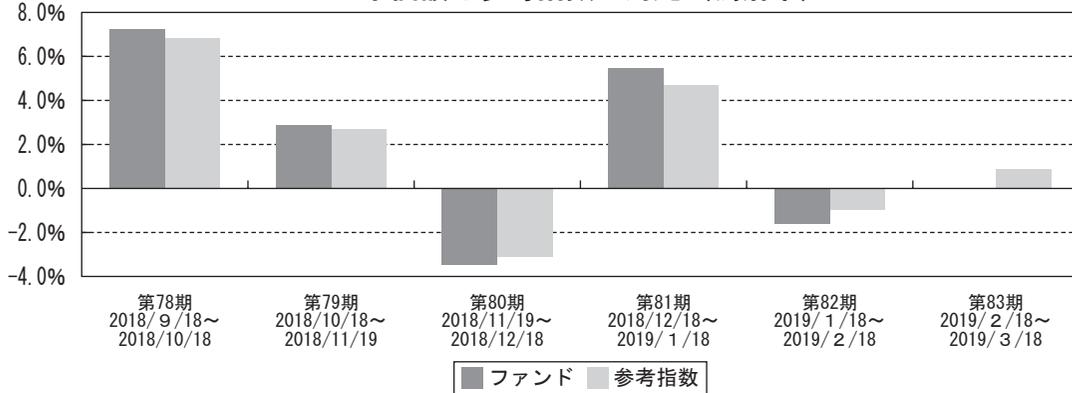
最終利回り	9.1%
直接利回り	8.6%
デュレーション	7.3年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第78期～第83期：2018/9/19～2019/3/18)

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJPモルガンGBI-EM南アフリカ（円ベース）です。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日	2018年11月20日～ 2018年12月18日	2018年12月19日～ 2019年1月18日	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
（対基準価額比率）	0.616%	0.603%	0.628%	0.599%	0.613%	0.616%
当期の収益	45	45	42	45	45	41
当期の収益以外	—	—	2	—	—	3
翌期繰越分配対象額	2,173	2,182	2,180	2,187	2,188	2,184

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <N a v i o 南アフリカ債券ファンド>

#### ◎今後の運用方針

- ・南アフリカ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### <南アフリカ債券マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・南アフリカの債券・為替市場では、米国で当面政策金利の据え置きが見込まれることなど、外部要因の改善が見られるものの、同国の財政への懸念や2019年5月の総選挙を巡る不透明感などから、当面市場は変動性の高い展開が続くと考えます。
- ・今後は、インフレ動向や経常収支、財政収支の動向などのマクロファンダメンタルズの動向を注視します。また、国内の経済・政治状況や格付会社動向については留意が必要です。

#### ◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

- ・南アフリカの今後の金融政策や政治動向、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年3月18日)

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(25)	(0.337)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(25)	(0.337)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.041	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.039)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	54	0.737	
作成期中の平均基準価額は、7,349円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年9月19日～2019年3月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第78期～第83期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
南アフリカ債券マザーファンド	千口 19,706	千円 23,506	千口 33,379	千円 40,421

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年3月18日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;N a v i o 南アフリカ債券ファンド&gt;

該当事項はございません。

## &lt;南アフリカ債券マザーファンド&gt;

区 分	第78期～第83期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 10	百万円 —	% —	百万円 29	百万円 4	% 13.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月19日～2019年3月18日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年3月18日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第77期末	第83期末	
	口 数	口 数	評 価 額
南アフリカ債券マザーファンド	千口 244,752	千口 231,079	千円 283,487

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月18日現在)

項 目	第83期末	
	評 価 額	比 率
南アフリカ債券マザーファンド	千円 283,487	% 99.0
コール・ローン等、その他	2,744	1.0
投資信託財産総額	286,231	100.0

(注) 南アフリカ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(280,715千円)の投資信託財産総額(285,043千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 南アフリカランド=7.72円			
------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2018年10月18日現在	2018年11月19日現在	2018年12月18日現在	2019年1月18日現在	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	290,498,682	301,272,659	287,696,048	302,363,218	287,975,344	286,231,048
コール・ローン等	1,114,474	1,056,325	1,027,154	1,147,935	1,114,060	1,176,903
南アフリカ債券マザーファンド(評価額)	287,572,191	298,213,257	284,849,780	299,369,441	285,094,932	283,487,816
未収入金	1,812,017	2,003,077	1,819,114	1,845,842	1,766,352	1,566,329
(B) 負債	2,130,583	2,368,631	2,139,969	2,262,985	2,209,679	2,072,878
未払収益分配金	1,787,809	1,812,156	1,804,945	1,809,373	1,761,901	1,762,379
未払解約金	8,467	200,001	2	107,068	89,019	2
未払信託報酬	333,241	355,335	333,953	345,435	357,614	309,506
未払利息	1	2	2	2	1	1
その他未払費用	1,065	1,137	1,067	1,107	1,144	990
(C) 純資産総額(A-B)	288,368,099	298,904,028	285,556,079	300,100,233	285,765,665	284,158,170
元本	397,291,030	402,701,498	401,099,044	402,083,031	391,533,748	391,639,835
次期繰越損益金	△108,922,931	△103,797,470	△115,542,965	△101,982,798	△105,768,083	△107,481,665
(D) 受益権総口数	397,291,030口	402,701,498口	401,099,044口	402,083,031口	391,533,748口	391,639,835口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,258円	7,422円	7,119円	7,464円	7,299円	7,256円

## ○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日	2018年11月20日～ 2018年12月18日	2018年12月19日～ 2019年1月18日	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 27	△ 48	△ 37	△ 36	△ 37	△ 21
支払利息	△ 27	△ 48	△ 37	△ 36	△ 37	△ 21
(B) 有価証券売買損益	19,349,176	8,773,039	△ 9,961,399	15,973,277	△ 4,334,303	354,725
売買益	19,611,442	8,919,537	75,540	16,009,952	273,193	417,979
売買損	△ 262,266	△ 146,498	△ 10,036,939	△ 36,675	△ 4,607,496	△ 63,254
(C) 信託報酬等	△ 334,306	△ 356,472	△ 335,020	△ 346,542	△ 358,758	△ 310,496
(D) 当期損益金 (A + B + C)	19,014,843	8,416,519	△ 10,296,456	15,626,699	△ 4,693,098	44,208
(E) 前期繰越損益金	△ 91,727,790	△ 73,569,793	△ 65,613,342	△ 77,566,976	△ 61,759,335	△ 67,123,352
(F) 追加信託差損益金	△ 34,422,175	△ 36,832,040	△ 37,828,222	△ 38,233,148	△ 37,553,749	△ 38,640,142
(配当等相当額)	( 43,797,495)	( 45,532,980)	( 46,067,633)	( 46,378,958)	( 45,374,103)	( 46,047,448)
(売買損益相当額)	(△ 78,219,670)	(△ 82,365,020)	(△ 83,895,855)	(△ 84,612,106)	(△ 82,927,852)	(△ 84,687,590)
(G) 計 (D + E + F)	△107,135,122	△101,985,314	△113,738,020	△100,173,425	△104,006,182	△105,719,286
(H) 収益分配金	△ 1,787,809	△ 1,812,156	△ 1,804,945	△ 1,809,373	△ 1,761,901	△ 1,762,379
次期繰越損益金 (G + H)	△108,922,931	△103,797,470	△115,542,965	△101,982,798	△105,768,083	△107,481,665
追加信託差損益金	△ 34,422,175	△ 36,832,040	△ 37,828,222	△ 38,233,148	△ 37,553,749	△ 38,640,142
(配当等相当額)	( 43,825,419)	( 45,562,554)	( 46,085,723)	( 46,383,908)	( 45,379,802)	( 46,063,863)
(売買損益相当額)	(△ 78,247,594)	(△ 82,394,594)	(△ 83,913,945)	(△ 84,617,056)	(△ 82,933,551)	(△ 84,704,005)
分配準備積立金	42,535,181	42,336,068	41,378,256	41,555,423	40,291,443	39,504,304
繰越損益金	△117,035,937	△109,301,498	△119,092,999	△105,305,073	△108,505,777	△108,345,827

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 396,924,215円  
 作成期中追加設定元本額 38,881,345円  
 作成期中一部解約元本額 44,165,725円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7256円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は107,481,665円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日	2018年11月20日～ 2018年12月18日	2018年12月19日～ 2019年1月18日	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日
費用控除後の配当等収益額	2,066,632円	2,144,557円	1,701,930円	2,065,211円	1,795,316円	1,619,632円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	43,825,419円	45,562,554円	46,085,723円	46,383,908円	45,379,802円	46,063,863円
分配準備積立金額	42,256,358円	42,003,667円	41,481,271円	41,299,585円	40,258,028円	39,647,051円
当ファンドの分配対象収益額	88,148,409円	89,710,778円	89,268,924円	89,748,704円	87,433,146円	87,330,546円
1万口当たり収益分配対象額	2,218円	2,227円	2,225円	2,232円	2,233円	2,229円
1万口当たり分配金額	45円	45円	45円	45円	45円	45円
収益分配金金額	1,787,809円	1,812,156円	1,804,945円	1,809,373円	1,761,901円	1,762,379円

## ○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1 万口当たり分配金 (税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

## 南アフリカ債券マザーファンド

### 《第7期》決算日2019年3月18日

[計算期間：2018年3月20日～2019年3月18日]

「南アフリカ債券マザーファンド」は、3月18日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、南アフリカの国債、政府機関債、政府保証債ならびに南アフリカランド建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(円ベース)	期 騰 落			
	円	%			%	%	百万円
3期(2015年3月18日)	12,035	16.9	432.53	16.6	96.0	—	313
4期(2016年3月18日)	8,938	△25.7	325.86	△24.7	95.3	—	227
5期(2017年3月21日)	12,381	38.5	452.48	38.9	95.7	—	318
6期(2018年3月19日)	13,471	8.8	498.05	10.1	95.1	—	344
7期(2019年3月18日)	12,268	△8.9	455.19	△8.6	97.3	—	283

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ (円ベース) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ ダ イ バ ー シ ャ イ ド (円ベース) のサブインデックスです。J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ ダ イ バ ー シ ャ イ ド (円ベース) とは、J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー が 算 出 し 公 表 し て い る 指 数 で、現 地 通 貨 建 て の エ マ ー ジ ン グ 債 市 場 の 代 表 的 な イ ン デ ッ ク ス で す。現 地 通 貨 建 て の エ マ ー ジ ン グ 債 の う ち、投 資 規 制 の 有 無 や、発 行 規 模 等 を 考 慮 し て 選 ば れ た 銘 柄 に よ り 構 成 さ れ て い ま す。著 作 権 は J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー に 帰 属 し て お り ま す。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2018年3月19日	13,471	—	498.05	—	95.1	—
3月末	14,026	4.1	516.42	3.7	96.3	—
4月末	13,600	1.0	500.36	0.5	95.2	—
5月末	13,157	△ 2.3	484.40	△ 2.7	96.3	—
6月末	11,932	△11.4	436.41	△12.4	95.6	—
7月末	12,913	△ 4.1	476.47	△ 4.3	95.6	—
8月末	11,309	△16.0	419.01	△15.9	94.8	—
9月末	12,110	△10.1	448.32	△10.0	96.3	—
10月末	11,517	△14.5	424.07	△14.9	96.1	—
11月末	12,785	△ 5.1	472.27	△ 5.2	95.6	—
12月末	11,769	△12.6	433.73	△12.9	93.3	—
2019年1月末	12,809	△ 4.9	469.44	△ 5.7	95.6	—
2月末	12,641	△ 6.2	466.51	△ 6.3	95.0	—
(期 末) 2019年3月18日	12,268	△ 8.9	455.19	△ 8.6	97.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.9%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

・南アフリカの債券市場では、金利は上昇しました。期首から2018年10月にかけては、米国での追加利上げ観測の高まりなどから、南アフリカなど一部の新興国からの資金流出懸念が高まったことや、トルコ金融市場の混乱を背景に新興国に対する投資家センチメントが悪化したことなどを背景に南アフリカ金利は上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、原油価格が下落したことや、米国の利上げ観測が後退したことなどから、新興国全体に対する投資家のリスクセンチメントが改善したことを受けて、南アフリカ金利は緩やかに低下基調に転換しましたが、期を通じてみると南アフリカ金利は上昇して終わりました。

## ◎為替市況

- ・南アフリカランドは対円で下落しました。期首から2018年9月上旬にかけては、前記のような新興国に対する投資家センチメントの悪化などにより、南アフリカランドは対円で下落しました。その後、期末にかけては、同国の財政への懸念は残存する一方、新興国全体に対するリスクセンチメント改善などから南アフリカランドは対円で概ね横ばいで推移した結果、期を通じてみると、南アフリカランドは対円で下落して終えました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、期首から2018年4月中旬にかけては、ラマポーザ新大統領による汚職・経済対策への期待感の高まりや財政収支改善に向けた姿勢などから、格下げリスクは低下したと判断し、参考指数比長めとしました。その後は、米国の利上げに対する市場織り込みの変化や、同国の財政への懸念などに留意し、参考指数比中立としました。
- ・債券の利子収益を享受したことが基準価額のプラス要因となりましたが、南アフリカランドが対円で下落したことや債券価格が下落したことなどがマイナス要因となり基準価額は下落しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・南アフリカの債券・為替市場では、米国で当面政策金利の据え置きが見込まれることなど、外部要因の改善が見られるものの、同国の財政への懸念や2019年5月の総選挙を巡る不透明感などから、当面市場は変動性の高い展開が続くと考えます。
- ・今後は、インフレ動向や経常収支、財政収支の動向などのマクロファンダメンタルズの動向を注視します。また、国内の経済・政治状況や格付会社動向については留意が必要です。

## ◎今後の運用方針

## （組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

## （種別構成）

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

## （デュレーション）

- ・南アフリカの今後の金融政策や政治動向、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年3月20日～2019年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	11	0.087	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(10)	(0.083)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.004)	
期中の平均基準価額は、12,417円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年3月20日～2019年3月18日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 25,597	千南アフリカランド 24,670 ( 600)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年3月20日～2019年3月18日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 24	百万円 —	% —	百万円 55	百万円 4	% 7.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月18日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
南アフリカ	千南アフリカランド 42,570	千南アフリカランド 35,715	千円 275,725	% 97.3	% —	% 82.0	% 11.7	% 3.6
合 計	42,570	35,715	275,725	97.3	—	82.0	11.7	3.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
南アフリカ		%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円		
	国債証券	10.5	3,900	4,286	33,094	2026/12/21	
		6.25	12,500	9,053	69,894	2036/3/31	
		6.5	8,500	6,012	46,419	2041/2/28	
		7.0	2,630	2,192	16,926	2031/2/28	
		7.25	1,300	1,305	10,079	2020/1/15	
		7.75	4,300	4,290	33,119	2023/2/28	
		8.0	3,980	3,649	28,175	2030/1/31	
		8.75	5,460	4,924	38,016	2048/2/28	
合 計					275,725		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 275,725	% 96.7
コール・ローン等、その他	9,318	3.3
投資信託財産総額	285,043	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(280,715千円)の投資信託財産総額(285,043千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 南アフリカランド=7.72円			
------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	285,043,049
コール・ローン等	4,748,442
公社債(評価額)	275,725,981
未収利息	4,250,406
前払費用	318,220
(B) 負債	1,566,335
未払解約金	1,566,329
未払利息	6
(C) 純資産総額(A-B)	283,476,714
元本	231,079,081
次期繰越損益金	52,397,633
(D) 受益権総口数	231,079,081口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,268円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 255,845,701円  
 期中追加設定元本額 33,833,032円  
 期中一部解約元本額 58,599,652円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2268円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

N a v i o 南アフリカ債券ファンド 231,079,081円

## ○損益の状況 (2018年3月20日～2019年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,824,349
受取利息	24,825,859
支払利息	△ 1,510
(B) 有価証券売買損益	△55,347,184
売買益	1,482,540
売買損	△56,829,724
(C) 保管費用等	△ 266,085
(D) 当期損益金(A+B+C)	△30,788,920
(E) 前期繰越損益金	88,795,971
(F) 追加信託差損益金	8,242,305
(G) 解約差損益金	△13,851,723
(H) 計(D+E+F+G)	52,397,633
次期繰越損益金(H)	52,397,633

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。